

【事業所方針】

事業所一覧 No	
----------	--

ftlビジネス・スクール(就労移行支援) ftlビー・ワーク(就労継続支援B型・生活介護)

令和5年4月1日現在

住所：板橋区成増2-23-1	
電話：03(6904)1095	FAX：03(6904)1096
担当：高原浩	

1.提供してしているサービス

サービス名	定員	令和5年4月 利用者数	令和6年4月 新規受入可能数	車いす受け入れ	実習受け入れ
就労移行支援	30	20	10	可(名)・不可	3日~10日
就労継続支援B型	15	21	1	可(名)・不可	3日~10日
生活介護	15	15	1	可(名)・不可	3日~5日

2. 事業所の方針と主な活動、作業内容、事業所の特色など

【就労移行支援事業所・就労定着支援】ftlビジネス・スクール

就労移行支援においては、支援者が特に気をつけなければいけないことがあります。それは、不十分な準備や不用意な職場選択と引き継ぎで失敗させないことです。支援のコツは、日頃から場と判断を分かち合うように関わりをもつことです。情報の伝達だけではなく、心と心の交流、成長過程で起きる葛藤を援助することです。

また、働き暮らすことを通じて社会参加することを目指す人にとって最適な環境は、働き暮らす場そのものと言えます。ftlでは、平日の日中、企業と契約した仕事に取り組みます。仕事の内容は、多岐にわたる軽作業です。所属グループメンバー同士で協力し合いながら、顧客との約束を守って信用と金銭的対価をいただくという内容です。これは、大学生がアルバイトを通して実社会で働く体験をするのと同じ意味をもっています。違いがあるとすれば、個々の段階に合わせたきめ細やかな設定・援助・フォローをする役割の支援者がいるということです。

就職活動の援助も、利用者と一緒に働いてきた職員が中心になって行います。就職した後に成長し、意味ある存在として輝ける場を一緒に探します。また、就労就労定着支援もあり、就職後3年間に渡って、必要な助言・援助を行います。初めての職場で出会う様々な経験を成長の機会に変えていく援助です。(就Bからの就職者や他事業所からの就職者も利用可)

その他にも、比較的手厚い支援が必要な利用者向けに、身体・認知面の発達を確認しながら、作業訓練以外の形で個別にアプローチする『基礎訓練プログラム』もあります。

また、年間カレンダーに定められた土曜日開所日には、ftl職員や専門家講師陣が登壇し、就労自立に必要な知識をわかりやすくレクチャーする形で学ぶ『特別プログラム』、就職したOBに登壇してもらい、就職先の様子を語り合う『OBとの交流会』、『和太鼓』『ICT教室』『身体・認知発達援助(どだいの会)』など、就労自立に向けて楽しく学べる機会を用意します。

ftlビジネス・スクール(就労移行支援) ftlビー・ワーク(就労継続支援B型・生活介護)

これらの援助を上手に使いながら、失敗してもやり直して学習できる場で社会人としての経験を積み、自信をつけて就職し、これを継続する。そんな充実した時間を仲間と一緒に創るための場が、就労移行支援事業所 ftlビジネス・スクールです。



【就労継続支援B型】(ftlビー・ワーク)

ftlビー・ワークでは、じっくりと腰を据えて企業就労を目指す方にフィットする事業所運営をします。利用者は、毎日通所したい方や、それを明確な目標にしている方がほとんどです。就労移行支援のクオリティーはそのままに、就労継続支援B型の制度を利用して就職と自立に向けての援助を行います。

また、ftlビー・ワークで基本を整えたら、就労移行支援事業所 ftlビジネス・スクールに移籍して企業就労を目指すという長期戦略で支援を組み合わせ使用し、企業就労を果たす利用者も想定しています。地に足の着いた評価と見立てと、本人を中心に、家族や支援者が息を合わせて発達援助する環境があれば、利用者は高等部卒業後も成長発達を続けます。予想外に成長する例はたくさんあります。

ftlビー・ワークで主に行う仕事は、企業と契約して受注した軽作業です。内容は多岐にわたり、ひとつの作業をひたすらやり続けるというよりも、複数の顧客との約束を守りながら、できる仕事の幅を広げていくイメージになります。

また、福祉就労の場ではありますが、企業就労を目指す利用者が多いため、日常的に、一般企業との関係を重視して運営されており、職員と利用者が一緒に一般企業へ出勤し、企業内で働いてくるといって『施設外就労』枠も持っています。できるだけ多くの利用者が企業内で働く体験をし、成長できるように工夫をします。

【生活介護】(ftlビー・ワーク)

発達保障の理念を掲げた、働く生活介護です。ftlビー・ワークの利用者は皆、仲間関係や社会の中に役割を持ち工賃も稼ぎます。糸賀一雄さんの言葉「この子らを世の光に」を実践しようという思いと共に始まり、若々しいメンバーが張り切って仕事に就いています。同時に、療育的な視点も持って成長発達を保障することを目指します。基礎的な力がつけば、就労移行支援や就労継続支援B型の現場で実習する機会もあります。また、生活技能を習得するプログラムや地域参加プログラムも持っています。気質を生かしつつ、人柄が成熟していくような援助環境があれば、利用者は高等部卒業後も発達します。本人・家族・支援者で息を合わせて未来を築いていく場所が、生活介護事業所 ftlビー・ワークです。